

ウィンブルドン行列便利メモ & 地図 (2025年版)

地図

① Southfields サウスフィールズ駅、District Line ディストリクト線

② Wimbledon Park ウィンブルドンパーク

行列はテントが並んでいるのですぐに分かる。最後尾には Q の旗。時間帯によってひとつつの行列、翌日の行列整理中、当日と翌日のふたつの行列があるので注意！

③ ウィンブルドン会場

④ The Gym Southfields シャワー

<https://www.thegymgroup.com/find-a-gym/southfields/>

月ぎめ £ 29.99、1 日パス £ 12.99、3 日パス £ 20.99をクレジットカードで購入できる(2025年)。8 桁の PIN コードで入室。24 時間営業。ロッカーの鍵は南京錠持参。なければ自動販売機で 6 ポンド。体力の有り余っている人は筋トレもできる。月ぎめの退会は、chatbotで担当者を呼び出して通知またはhello@thegymgroup.comにメールで通知するか、昼間にいるスタッフに依頼する。

⑤ McCluskey's Food and Wine 07:00~20:00

コンビニ。食料、アルコールなど。23年までは充電サービスを行っていたが、チャージャー供給サービスなどで需要がなくなったため終了。カメラ用など特殊なバッテリーは、イギリスの電源アダプターにつないだ状態で渡せば充電してもらえる。

⑥ Café Nero 6:00~20:00 (但し、ウィンブルドン中は5:30開始、土日は7:00, 7:30開始)

<https://www.caffenero.com/uk/>

Wifi 有り。USB コード用コンセント、イギリス式プラグ (BF タイプ) の AC 電源の使える席がある。

⑦ Gail's Bakerly Southfields (06:30~ 18:30但し日曜日は07:00~)

<https://gails.com/pages/southfields>

美味しいパンやキッシュなど。イートインもあり、イギリス式プラグ (BF タイプ) の AC 電源の使える席もあるが、僅か。Wifi 有り。

⑧ HomeWork Southfields, Flexible Workspace & Café (月~金: 8:00-17:30, 土9~14時, 日休)

<https://www.homeworkworkspace.com/>

リモートオフィス用ブースが借りられる。時間6ポンド弱。シャワー、高速Wifiが使え、コーヒー・紅茶など自由。

⑨ Durnsford Cleaner, 389A Durnsford Rd 8:00~19:30 (日曜日 9:00~19:00)

コインランドリーと洗濯サービス。5 kg程度を洗濯・乾燥・畳んでもらって 15 ポンド。3~4 時間後に取りに行く。自分で洗う場合は、仲間からの連絡があればすぐに戻れるようにする必要がある。

Qの改善

毎年Qの改善が行われているが、2024年ではかなりの改善点があった。スマホ充電のためのモバイルバッテリー貸し出しサービス、トイレの拡充と整備維持改善（紙不足、故障トイレ修理など）。2025年では、Qの前にWifi Hubができる、この近くではWifiが快適に使えるようになった。2024年では行列でのチケット売り場の後にQビレッジができた。ここでリセール・チケットの登録が可能となった。Qでの時間待ちのための設備、コーヒーなどの無料サ

ービスや大型モニターでの観戦など。一方で、次のセキュリティ（10時開始）の順番待ちがここでリシャッフルされる。

キャッシュレス

数年前より、会場はすべてキャッシュレス（クレジット、タッチ決済）のみとなったが、街の店では現金も使える。複数人で割勘にするときなどは割り勘分を現金またはキャッシュレスで個別に払わせてもらうことは可能。

食事

サンドイッチ、サラダなどの軽食の持ち帰りは、コンビニ MaCluskey、サウスフィールズ駅近辺のスーパーなど。レストランはサウスフィールズ近辺と公園東側のダーンズフォード通り。サウスフィールズは行列客だけでなく観戦帰りの客も多く、非常に込み合っている。ダーンズフォード通りのレストランやパブは空いていてお勧め。但し、公園東側出入り口は夜10時ごろ閉められるので注意。2024年は、隣接するテニスクラブの食堂が再開したが、朝は相当並ぶ。ジムの隣にあるフランス人経営のバゲットサンドChanteroy SouthfieldsやベーカリーGail'sも美味でお勧め。「イギリスの料理は不味い！」は20年前まで。今はごく普通。

イギリスの物価高（2024年で2016年比インフレ170%程度、為替差140%程度で2.4倍となり、レストランは非常に高く感じるようになった。そのため、水でできるアルファ米（炊いたご飯をフリーズドライ）や同じく水で戻せるフリーズドライのカレーやみそ汁が便利。特に会場のレストランは込み合って値段も高いので、アルファ米と味噌汁などですますのも良い。

パブ

空いた席を確保してから、カウンターで食事と飲み物を注文して支払う。カウンターでは行列はしないが、他の人がいる場合は自分の前にいた人を覚えておき、「お次は？」で自分の順番が来てから注文するのが英国流。外の人間には分からぬ京都のバス停のような順番待ちだが、行列の精神が生きている。

⑨ The Old Fields 大型スクリーンではワインブルドン中継放送。

⑫ The Pig & Whistle 日曜日定番のローストビーフ(Sunday Roast)が美味。お勧め！

各国料理

⑩ Thai Girder タイ料理。美味しい人気。なかなか席が取れない。早めに行くと良い。

⑪ Olive Garden イタリア料理。選手やコーチなどをよく見かける。

⑬ The Jaipur インド料理（実はバングラ料理）。美味しい人気。リーズナブル。

携帯用 SIM

SIM フリースマホを使い、現地のプリペイド SIM または eSIM がお勧め。日本での購入、またはヒースロー空港各ターミナル出口にある SIMLocal でも買える。2025年は、センター コート及びNBo.1コート内では繋がってもスピードが遅すぎて使えない状態が続いたが、QFでは改善された。どこのものが良いか分からぬ。VodafoneはWimbledonのパートナー

なので良いかも。

スマホ電源、カメラ充電

2024年最大の改善は、スマホ用モバイルバッテリー貸し出しサービス（PHONE CHARGING）。パーク内キャンプ場、Qビレッジ、ウィンブルドン会場内のいたる所に供給機が設置されている。モバイルバッテリーはLightningとType-Cのケーブル付きで、スマホ同サイズで厚み8mmほど。スマホの下にくっつけて充電しながら使用できるのが便利だが、充電容量はiPhone ProMax 15の場合半分程度しかできなかった。価格は、保証金15ポンド、使用料10ポンドで5日間何度でも交換できる。5日以内に返品しないと保証金は戻らないが、充電済みとの交換はその後もできて、最後にバッテリー自体を持ち帰ることができる。2024年は毎日3回程度交換したが、どこでもすぐ交換できるので大変便利だった。40回程度交換して25ポンドは助かった。持参した大型のモバイルバッテリー3本をカメラバッテリーの充電に使うことができた。

スマホ以外（カメラ、時計など）の充電には十分なモバイルバッテリーを持参することが必要。コンビニでの充電サービスがなくなり、カフェでの充電も急速充電ができないので必要分を持参する必要がある。コンビニでの特殊バッテリー充電は、イギリスの電源アダプターを含めた形であれば頼むことが可能。

スマホ用アプリ

- The Championships, Wimbledon 20XX

開幕直前に毎年更新される公式アプリ。ドロー、オーダー、ライブスコア、結果、ニュースなど必要情報が得られる。これがないと困る必須アプリ。

このアプリ内のmyW (my Wimbledon)を登録しておかないとリセールチケットの購入ができない。2024年時点でmyW登録は義務ではないが、いずれそうなりそう。

- Wimbledon Queue @ViewFromTheQ

ウィンブルドン行列の情報交換の X(Twitter)。

- Apple iPhone標準の天気アプリが進化していて一番良かった。日本で使う同じアプリでも機能が大きく違う。雨雲レーダーに加えて、今後1時間の降雨予報が非常に正確。

- Weather & Radar

天気予報と雨雲レーダー。

- London Weather, UK Weather など適当に。

服装

年によって雨の多さや気温が大きく変わり、朝晩は 10°Cを下回ることもある。重ね着ができるようにしておくことが望ましい。私の場合、トレッキング用のウインドブレーカーが重宝している。薄手のダウンも不可欠と考えた方が良い。2024年は、ほとんど毎日雨が降る寒い年であった。最低10°C以下、最高20°C程度で涼しというより寒かった。10°C対応の寝袋だけでは寒すぎたと言われる方もいた。夜も寒い時に重ね着できるようにしておいた方が良い。2024年は半袖と短パンも用意していたが、まったく出番がなかった。2025年は30度を超える日もあってひどく暑かった。

テント泊必需品

テント・マット・寝袋の3点セットは不可欠。夜 10°C以下まで下がることがあった。全部で 2 万円以下の安価なものでよいが、その場合は防寒衣料が不可欠。テントは原則 2 人用までのサイズ。使い捨てる場合は、一時預けの隣に DONATION TENTS コーナーがあるのでここに処分する。テント、マット、寝袋などは、ホームレスに寄付されること。古いテントを持参する場合は防水加工が必要。キャンプ3点セットで一番重要なのはマット。マットを持って来ない人もいるが、①地面との断熱、②クッションの機能はテントや寝袋にはないで必需品。テントや寝袋は使い捨てでも良いが、快適な眠りには良いマットにお金をかけるべき。Thermarest プロライトがお勧め。2 万円程度と高いが、ホテルのベッド並みの寝心地。寝心地の良さに加えて地面からの寒さの遮断性能も十分。安い銀マットでは寒さが遮断しきれない場合がある。他に必需品は、雑巾、ウェットティッシュ、レジャーシート、LED ライド（スマホで代用可）、モバイルバッテリー（カメラ用なども含めてリチウムイオンバッテリーは機内持ち込みが必要で、容量は 1 個 160mW 未満）。あると便利なのはコンパクトな折りたたみ椅子（Helinoxなど）。ノイズ・キャンセリング・イヤホンもあると良い。お隣りの激しいイビキが 10m 程度遠のいてくれる。バッグは制限サイズの 60cm x 45cm x 25cm に近いものが良いが、オーバーしても一時預けで受け入れてくれる。

雨の多い、少ないは年によって異なるが、雨対策は必要。地面が泥でぬかるむので、靴は汚れてもよいもの、できれば防水処理したものが望ましい。

空港往復のタクシー

電車でお往復する人も多いが、私は少し高くなつがミニキャブを予約している。ミニキャブはヒースロー・ウィンブルドン間で £ 55+空港パーキング (£ 7.5) とチップ (2025 年)。ミニキャブは通常税関通過後の出口で名前を書いたシートを持って出迎えてくれる。氏名、電話番号、到着便名、到着日時、ターミナル、目的地（ウィンブルドンパーク入口なら SW19, 381 Wimbledon Park Road）を伝えて見積りを依頼する：

ホームページ <https://windsorcars.com/>

メール：bookings@windsorcars.com

空港で予約なしで乗るブラックキャブはミニキャブの 2 倍弱程度と思われるが、最近の事情はよく分からぬ。最近は Uber も多く、ミニキャブより少し安いとのこと。荷物を持ち運ぶことをいとわない人は電車でも 1 時間程度で一番早い。

ウィンブルドン B&B (Bed & Breakfast=朝食付きの民宿)

<http://www.wimbledonhomesb-b.co.uk/>

2 連泊以上の単位で予約。距離が近いなど条件の良い物件は半年前くらいに予約するのが望ましい。私も以前は B&B を予約してテント泊と B&B 泊を交互にしていたが、テントなどのキャンプ道具を持って B&B まで歩かなければならず、テントで連泊した方が肉体的にも楽と分かってからはテント泊のみとしている。シャワーと充電の問題が解決したのでテント連泊の問題はなくなった。

ホテル

以前はテント泊の前後にホテルに泊まっていたが、今回も飛行場からウィンブルドンパークに直行直帰した。特に不自由はなかった。距離的に会場に近い Holiday Inn や Premier Inn を使っていた時期もあるが、タクシーでの移動が不可欠で、帰りのタクシー確保が大変なので止めた。最近は地下鉄 1 本で行ける範囲で、West Brompton 駅から近い Hotel Lily についていた：<http://www.hotellily.co.uk/>

すぐ隣には Hotel ibis London Earls Court Hotel：

<https://www.accorhotels.com/gb/hotel-5623-ibis-london-earls-court/index.shtml>